

CSR マネジメント

当社では、CSR 報告書をコミュニケーションツールとして、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの「声」をお聴かせいただき、その「声」を経営や業務運営に反映させる CSR マネジメントサイクルを構築しています。

CSR 推進会議

CSR の推進のため、CSR 担当役員を任命するとともに、社長を委員長とする CSR 推進会議を設置し、CSR 行動計画の策定等を行い、CSR の取組みの充実を図っています。

CSR 推進会議の概要 (2013年6月現在)

[役割] CSR 活動全般の方針・計画等の審議
 [構成] 委員長：社長
 副委員長：CSR 担当の副社長又は執行役員
 委員：副社長、取締役、常務・上席執行役員を基本(委員長が指名する)
 出席者：常勤監査役
 [開催] 原則として年2回

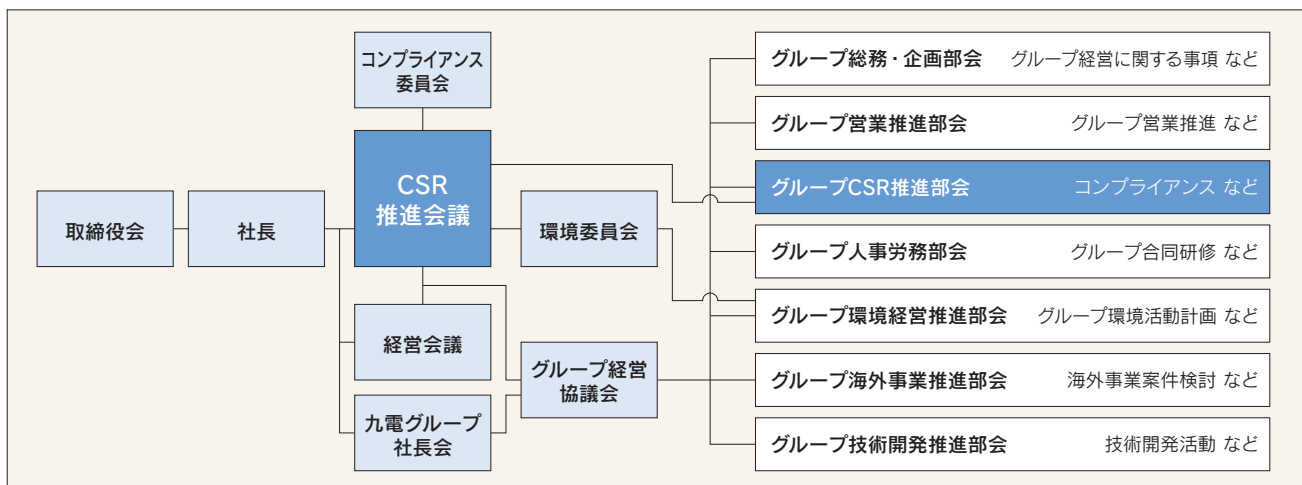
グループ CSR 推進部会

九州電力グループでの CSR の取組推進のため、グループ CSR 推進部会を設置し、CSR 行動計画の PDCA を行っています。

グループ CSR 推進部会の概要 (2013年6月現在)

[役割] ・グループ全体での CSR マネジメントサイクルの確立
 ・コンプライアンスに関する施策のグループ会社への確実な浸透
 [構成] 部会長：九州電力(株)地域共生本部 部長(総務担当)
 副部会長：九州電力(株)地域共生本部 部長(法務担当)
 構成会社：52社
 [開催] 原則として年2回

▼ CSR 推進体制



CSR報告書2012アンケート結果

当社では、CSR報告書アンケート調査を通じ、皆さまからいただいた「声」を事業活動にとり入れています。2012年9月に行ったアンケート結果では、「どちらとも言えない」との回答が多く、2011年度から大きな改善は見られませんでした。また、当社への厳しいご意見を数多くいただきました。

このアンケート結果を踏まえ、今後ともCSRの取組みを更に充実させていきます。

■ アンケート概要

調査期間：2012年9月11日(火)～9月18日(火) 件数:1,547件

1 取組内容に関する評価

| 取組項目 | 2012年度評価(2012年9月) | | | 2011年度評価(2012年2月) | | |
|------------------------|-------------------|------|------|-------------------|------|--------|
| | 0 | 20 | 40 | 60 | 80 | 100(%) |
| 社会とのコミュニケーションを大切にします | 31.8 | 45.0 | 23.1 | 33.2 | 39.5 | 27.2 |
| 安全・安心を第一に考えます | 40.5 | 41.1 | 18.4 | 36.0 | 45.9 | 18.1 |
| 地域と協働してよりよい社会づくりに貢献します | 46.2 | 34.3 | 19.6 | 44.8 | 42.1 | 13.1 |
| 環境にやさしい企業活動を目指します | 45.1 | 42.0 | 12.9 | 49.1 | 36.6 | 14.3 |
| 人権を尊重し働きやすい職場をつくれます | 41.7 | 43.8 | 14.6 | 44.1 | 42.7 | 13.2 |
| コンプライアンス経営を推進します | 38.3 | 38.7 | 23.0 | 33.9 | 37.2 | 28.8 |
| 信頼再構築に向けた取組み | 34.2 | 40.6 | 25.2 | 29.0 | 41.1 | 29.8 |

■ 「大変評価できる」、「評価できる」 ■ 「どちらとも言えない」 ■ 「あまり評価できない」、「全く評価できない」

2 当社の事業活動に対する主なご意見と当社の対応状況

福島第一原子力発電所のような事故が二度と起こらないよう安全対策や自然災害への対策を徹底してほしい。(30代、男性)

福島第一原子力発電所事故を踏まえ、想定を超える大きな津波への対策はもちろんのこと、万一の場合でも安全に対応できるように、幾重もの安全対策を行っています。

再生可能エネルギーの取組みに期待しています。原発に頼らない世界を次の未来の子供達に見せてやりたいです。そのためにも九電の力は必須だと思います。応援しています。(30代、女性)

九州電力では、太陽光・風力・地熱・バイオマスなど、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めています。今後の国のエネルギー政策見直しの動向等を踏まえ、バランスのとれた電源開発を検討していきます。

現場の社員がどれだけ真面目に仕事をしていても、経営層の意識が変わらなければ、信頼関係は決して築けない。(20代、男性)

社会情勢の変化に対する感度を高め、これからの社会ニーズに新たな発想でチャレンジし、自ら変わることができる企業を目指し、経営層を含め、全社一体となった組織風土改革に取り組んでいます。

2013年度九州電力グループCSR行動計画

2012年度のCSR行動計画の実施状況について、CSR報告書アンケート等から収集したステークホルダーの皆さまのご意見を踏まえて、自己評価を行い、2013年度のCSR行動計画を策定しました。

| 項目 | 2012年度の主な活動実績 ※()内は報告書の該当ページ |
|--|---|
| 社会との コミュニケーションを 大切にします | <ul style="list-style-type: none"> ○お客様の声を大切にされた事業運営を行っています。(P27) <ul style="list-style-type: none"> ・日常業務やお客さまとの対話活動などを通じていただいた、お客様の声やニーズを事業活動の改善等に反映しています。 ○「でんき予報」等を通じ、電力の需給状況をお知らせしました。(P30) <ul style="list-style-type: none"> ・テレビの情報番組での説明や、CM・新聞広告等を通じ、節電に関するお願い等を実施しました。 ○原子力発電所の安全対策など、ステークホルダーの皆さまにご理解いただけるよう、勉強会や見学会を開催しました。(P33) |
| 安全・安心を 第一に考えます | <ul style="list-style-type: none"> ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策等を実施しています。(P7・8、P35～37) <ul style="list-style-type: none"> ・すでに実施した緊急安全対策に加え、更なる信頼性向上のため、免震重要棟の設置など、更なる安全強化策についても検討・実施しています。 ○委託先・請負先と一体となった安全活動を推進しました。(P44) <ul style="list-style-type: none"> ・安全に関する作業発注時の現場説明のほか、安全情報の共有等による重大災害防止に向けた意識啓発の強化を実施しました。 |
| 地域と協働して よりよい 社会づくりに 貢献します | <ul style="list-style-type: none"> ○地域のステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを通じた地域課題の把握と、その解決に向けた協働による活動を推進しています。(P48) ○「九電みらいの学校」(次世代層支援プロジェクト)を展開し、小中学生等にエネルギー・環境教育を実施しました。(P49) ○社員のボランティア活動を活発化するための取組みを行いました。(P53) ○当社やグループ会社の事業活動を通じ、地域・社会の持続的発展への貢献を行いました。(P55～58) |
| 環境にやさしい 企業活動を 目指します | <ul style="list-style-type: none"> ○グループ会社と一体となった再生可能エネルギーの積極的な開発・導入や、当社自らの節電・省エネ活動の徹底など電気の供給面と使用面の両面から、CO₂の排出抑制に取り組みました。(P9・10、P60) ○廃棄物のゼロエミッション活動や環境に配慮した製品の調達に取り組みました。(P61) ○大気汚染対策やPCB使用機器等の適正な保管・管理を徹底しています。(P63) ○環境月間を通じた環境コミュニケーション活動や、自治体・教育機関等と連携した次世代層へのエネルギー・環境教育、「九州ふるさとの森づくり」を実施しました。(P64) |
| 人権を尊重し 働きやすい 職場をつくります | <ul style="list-style-type: none"> ○人権・同和問題に関する社内研修及び社外研修へ積極的に参加しました。(P67) ○グループ大でのハラスメント相談窓口の相談事案に対する支援を行いました。(P67) ○多様な人材が活躍できる環境(制度や風土など)づくりを行っています。(P68～73) <ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ推進の理解浸透や意識改革等に向け、各職場での説明会や情報発信等を実施しました。 ・「次世代育成支援対策推進法」に基づく行動計画を着実に実施しました。 ・労働生産性向上とワーク・ライフ・バランス実現に向けた取組みを実施しました。 ○「社員教育方針」を定め、様々な教育・研修を実施しました。(P74) |
| コンプライアンス 経営を推進します | <ul style="list-style-type: none"> ○コンプライアンス推進体制を強化しました。(P77) <ul style="list-style-type: none"> ・これまで、異なる本部で実施していた計画業務、教育、モニタリング等を1本部で実施し、主体的な責任体制で推進しています。 ○従業員への教育を実施しました。(P79) <ul style="list-style-type: none"> ・東京支社を除く各支社にエリア担当者を設置し、各職場での研修等を実施しました。(職場研修を8,402名が受講) ○当社及びグループ会社従業員における意識調査を行い、対策を講じています。(P80) ○法律の改正状況をタイムリーに周知するとともに、セミナー等の関連情報も発信しました。(P80) |



◆印は、昨年度の報告書アンケートでいただいたステークホルダーの皆さまからの主な意見・評価です。

| 主な評価 | 2013年度の主な行動計画 |
|---|---|
| <p>○「でんき予報」や節電へのご協力をお願いなど、今後も需給状況に応じたPRの実施検討が必要</p> <p>◆情報が迅速・的確に発信されていないため、時機を逸せず、発信することが必要</p> | <p>○お客さまの声を聴くため、フェイス・トゥ・フェイスでの対話活動を継続して実施します。</p> <p>○お客さま対話活動での意見や、CSR報告書アンケートでの評価結果については、次の取組みに反映させていきます。</p> <p>○「でんき予報」等を活用し、お客さまに電力の需給関連情報を積極的に提供します。</p> <p>○「原子力発電所の更なる信頼性向上と安全・安心の確保」に向け、説明会や情報提供を実施します。</p> |
| <p>○ヒューマンエラー事故ゼロに向けて、作業員一人ひとりへの基本動作を徹底させる取組みの継続が必要</p> <p>◆原子力発電所の安全対策や防災体制について、対応を強化することが必要</p> | <p>○国の新規規制基準や関係政省令を踏まえ、原子力発電所の安全性確保に向けた取組みを確実に実施します。</p> <p>○委託先や請負先への作業発注時及び作業変更時における現場説明や施工計画確認を実施します。</p> <p>○安全パトロール等を通じて、基本事項・基本動作の遵守状況を確認します。</p> <p>○公衆の安全を考慮した工事施工や安全対策を徹底します。</p> |
| <p>○各活動の内容が地域のニーズに合致しているか検証し、継続的に見直していくことが必要</p> <p>◆「地域との協働」は継続すべきであるが、各活動を充実させるためには、これまで以上に地域とのコミュニケーションが必要</p> | <p>○社員の活動など人的貢献を中心とした取組みを充実・拡大していきます。</p> <p>○業務の中で実施している地域貢献活動も含め、ボランティア活動を拡充していきます。</p> <p>○地域資源や再生可能エネルギーを活用したまちづくり支援を継続して実施していきます。</p> |
| <p>○今後ともCO₂排出抑制に向けた取組みや廃棄物のゼロエミッション活動などの継続実施が必要</p> <p>◆「九州ふるさとの森づくり」やエネルギー・環境教育は、継続していくことが必要</p> | <p>○再生可能エネルギーの積極的な開発・導入など、温室効果ガス排出抑制に向けた電気の供給面・使用面での取組みを実施するとともに、海外でのコンサルティング事業を実施します。</p> <p>○廃棄物のゼロエミッション活動や環境配慮製品の調達を継続します。</p> <p>○大気汚染対策やPCB使用機器の適正な保管・管理を徹底します。</p> <p>○地域との協働による環境保全運動としての「九州ふるさとの森づくり」を実施します。</p> |
| <p>○「ダイバーシティ推進」の必要性や概要については、認知・理解が進展</p> <p>◆ワーク・ライフ・バランスの取組みを着実に進めるとともに、多様な人材が活躍できる環境整備への取組みを強化することが必要</p> | <p>○私たちの目指す人材像に向けた成長や働きがいの実感につながる取組みを継続して実施します。</p> <p>○多様な人材が活躍できる環境づくりを継続して実施します。</p> <p>○グループ会社においても、ハローワーク等と連携し、障がい者雇用を継続実施するとともに、障がい者の職場経験研修を実施します。</p> <p>○社会やお客さまからの信頼再構築を含め、「社員教育方針」に基づいた教育・研修を推進します。</p> |
| <p>○従業員への教育については、社会情勢の変化等も取り入れながら、今後とも研修等を通じた継続的な意識啓発が必要</p> <p>◆コンプライアンス意識の向上に向けては、取組みを着実に継続することが必要</p> | <p>○全社員対象のコンプライアンス研修を継続して実施します。</p> <p>○当社及びグループ会社向けのコンプライアンス意識調査を実施し、結果を踏まえた対策を検討、実施していきます。</p> <p>○グループ全体での法令違反リスクを低減させるため、法令関係情報の提供や、グループ会社の担当者への実務勉強会などを検討、実施していきます。</p> |

